

令和5年市長年頭あいさつ

令和5年1月4日

市長 中原 八一

令和5年の新年を迎えました。

みなさん、新年明けましておめでとうございます。

こうして仕事初めを皆さんと一緒に、健やかにスタートできますことを、大変うれしく思います。

年末年始も、職務に励んでいただいた職員の皆さんがいたことと思います。本当にご苦労様でした。心から感謝申し上げます。

新潟市内を見渡しますと、年末から、帰省の動きも活発になり、家族みんなで過ごしたり、久しぶりに友人と会い、楽しい時間を過ごしたという人が多かったように見受けられました。

社会経済活動は着実に動きだしています。

ただし、依然、新型コロナウイルスの収束の見通しを立てることはできません。今年も引き続き皆さんと力を合わせ、感染対策やワクチン接種等を怠ることなく徹底し、一方で社会経済活動をさらに回復させ、ウイズコロナを本格的に定着させていく年にしていきたいと思っています。

また昨年からのロシアのウクライナ侵攻による原材料価格や、エネルギー価格の高騰、また円安による物価高騰等は、市民生活や経済活動に大きな影響を及ぼしています。

市民の皆さまの生活を、何としても守るため、本市としてもこうした状況をしっかり見極めつつ、国や県と連携し、適時適切な対策を打てるよう取り組んでまいります。

さて今年は、卯年であります。

卯年は「これまでの努力が実を結び、勢いよく成長し飛躍するような年になる」と言われています。

昨年は、新型コロナの影響で、中止や延期を余儀なくされてきた、消防出初式や新潟まつり、新潟シティーマラソンなどの行事やイベントも、皆さんのご尽力と市民の皆さんのご協力により、

何とか実施することができました。秋には「にいがた2キロフラワーフェスタ」や「食花マルシェ」など新規イベントも開催することができました。

昨年、アルビレックス新潟が、我慢の時期を経てJ2リーグ優勝とJ1リーグ昇格を果たし、大きく花開いたように、本市にとって、今年が、さらに飛躍する年となるよう取り組んでいきたいと考えています。

本市のまちづくりも着々と進んでいます。新潟駅のリニューアルや駅周辺整備事業は、昨年6月に在来線の全線高架化が完了し、一つの節目を迎えました。

いよいよ来年度には、駅直下バスターミナルが完成する予定ですが、それに先立ち今年3月に駅直下バスターミナルの歩道部分の供用が開始されます。

駅南北の行き来がスムーズにできるようになることで、人の流れも大きく変わりますので、本市のさらなる活性化に繋げていきたいと考えています。

また昨年、新潟県とともに進めてきた誘致活動の結果、5月には「2023年G7新潟財務大臣・中央銀行総裁会議」が開催されます。

世界から注目される重要な国際会議であることから、会議の成功に向け国や県と連携を図り、取り組むとともに、各国の要人を本市の「おもてなし」でお迎えし、会議を通じて、新潟の拠点性や、新潟の魅力を、世界に大きくアピールしてまいります。

さて、昨年10月に市長選挙が行われましたが、私は選挙を通じて多くの市民の皆さんの声をお聞きすることができました。

市民の皆さんが、本市の活力向上や地域の活力向上、暮らしのさらなる充実を強く望んでいることを、改めて実感することができました。また、子育て世帯の皆さんの負担が重いことも痛感したところであります。

今年には中原市政2期目のスタートの年になります。市長選挙で約束した公約をはじめ、市民の皆さんが期待する新潟市政を、一つ一つ形にしていきたいと考えています。

現在各部局において新年度予算編成作業を進めていただいておりますが、こうしたことをしっかりと踏まえ、新年度の予算編成を進めていただくとともに、新年度がスムーズにスタートできるよう、力を尽くしてほしいと思います。

今年も引き続き、職員の皆さんと一丸となって「選ばれる都市 新潟市」の実現に向けて、取り組んでまいりたいと考えていますので、宜しく申し上げます。

また、幹部の皆さんからは、職場のリーダーとして、職員一人ひとりが仕事をしやすい職場環境づくり、またハラスメントを許さない職場風土づくりをお願いいたします。

終わりに、今年が、本市と市民の皆さん、またわれわれ職員にとって明るく素晴らしい一年となりますよう、心から祈念いたしまして、年頭のあいさついたします。